

福祉ぐんま

2020 WINTER

No. 271

表紙写真：秋間梅林



特集

P2・3

福祉・介護人材の確保について

CONTENTS

P4 TOPICS
● 県内外被災地支援活動

P6 ◆ つながる福祉 インタビュー
◆ 県社協会員紹介

P7 ◆ まちの社協レポート
～伊勢崎市社協～

◆ 民児協全国大会群馬大会に向けて

P8 ◆ 年頭のごあいさつ
◆ INFORMATION

- 人権相談
- 見守り支援セミナー

つながる福祉

群馬県健康福祉部 介護高齢課
介護人材確保対策室長
佐藤 貴彦さん
〔関連記事は6ページ〕

ホームページは、
下記のQRコード
からアクセスして
ください。



「福祉ぐんま」の作成経費として共同募金配分金を使用しています。

お知らせ 令和2年度 全国民生委員児童委員大会 群馬大会開催!

2020年10月22日(日)・23日(金)
Gメッセ群馬 (高崎市)

福祉・介護人材の確保について

近年の社会福祉を取り巻く人材確保の環境については、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる2025年（令和7年）に群馬県では介護人材が約4万人必要と言われており、今後約5千人を確保することが必要だと見込まれていることから、人材確保対策は喫緊の課題とされています。

このような状況の中、群馬県社会福祉協議会では、群馬県福祉マンパワーセンターを中心に様々な取り組みを行っています。

群馬県福祉マンパワーセンターについて

群馬県福祉マンパワーセンター（以下、本センター）は、群馬県社会福祉協議会（以下、本会）が管理・運営する福祉・介護の分野に特化した無料職業紹介所です。

本センターは社会福祉を担うマンパワーの養成・確保や資質の向上を目的として設置されており、主に求職登録者の方々への職業紹介や資格に関する相談の受付など、職員を募集したい県内の福祉施設・事業所からの求人情報の受付を無料で行っています。また、本センターと同様の窓口を高崎市及び太田市

に福祉人材バンクとして設置し、無料職業紹介業務を行っています。

福祉・介護のお仕事紹介について

本センターでは福祉・介護の分野に就職したい方と、職員を募集したい県内の施設・事業所をマッチングしています。また、求職者の方が気になる求人があった場合、求人を出している施設・事業所への見学や面接の調整をさせていただきます。

本センターの特徴として、福祉・介護の業務や施設・事業所についての知識を持つ「キャリア支援専門員」がおり、求職者の方からの相談対応や求職ニーズを踏まえた求人情報の紹介等、きめ細かい支援を行っています。

求職者の方が施設・事業所の方と直接的な面談や職場で仕事をするための知識、技術等について説明できる場として「福祉ハートフルフェア」や「福祉のお仕事相談会」を開催しています。

福祉ハートフルフェアは年に一度、県内全域の



相談風景

福祉・介護関係施設・事業所がそれぞれのブースで求職者の方と面談・相談を行います。今年度は82の法人がブースを出し面談・相談を行いました。また、中毛・北毛・西毛・東毛の地区別に分けて求職者の方と面談・相談を行う福祉のお仕事相談会を行っています。

福祉・介護の仕事が未経験で自分に合う職場を探している方に向けた「就活応援セミナー」や、就活活動の準備や面接時のコミュニケーション等、就職活動に不安のある方に向けた「福祉の就職ガイダンス」を行っています。



ハートフルフェア

福祉・介護のイメージアップについて

福祉・介護の仕事の意義や魅力について理解を深めてもらうため、本センターでは福祉・介護の仕事に関心のある方が実際の福祉・介護の仕事や施設を見ることのできる「施設見学会」や「施設見学バスツアー」、実際の職場の雰囲気や介護の具体的な業務を体験することのできる「職場体験事業」を実施しています。

また、福祉課程を有す



福祉セミナー

高等学校にご協力いただき、社会福祉関係者による高校生を対象とした「福祉セミナー」を開催し、福祉職への理解を深めるよう努めています。

外国籍の方の支援と介護福祉士 修学資金貸付制度について

平成29年度に外国人の在留資格として「介護」が創設されたことを契機に介護福祉士養成施設の入学者は毎年倍増しており、令和元年度全国の介護福祉士養成施設へ入学した者のうち、約3割は外国人という状況にあります。

介護福祉士修学資金貸付事業においては外国人留学生への貸付も増加しており、厚生労働省では平成29年度に「本事業には外国籍の方も含まれる」とし、保証人については「事業所の雇用主や役員（理事長等）、事業所自体（法人）等でも差し支えない」旨の文書を発出し、外国人留学生の多くが法人保証となつています。

これらの背景から、本会福祉資金課で行っている介護福祉士修学資金貸付事業についても平成30年度より外国人留学生の法人保証が認められ、平成30年度は13名、令和元年度は47名と、多くの外国人留学生が貸付事業を利用しています。

また、令和元年度より新規事業として「外国人向け介護の仕事見学バスツアー」を実施しました。これは介護に関心のある日本語学校の留学生や定住外国人の方等を対象とした事業で、介護福祉士養成施設と介護施設を見学するツアーとなっています。令和元年度は7名の方が参加されました。



外国人バスツアー見学中



外国人向けバスツアー集合写真

従事者向け研修について

社会福祉を取り巻く人材不足の問題の1つとして、職員の早期離職が挙げられます。本センターでは1人でも多くの離職を防ぎ福祉人材の定着を図るため、職業キャリア（職務経歴）に応じた研修プログラムを採用した階層別研修を実施しています。

今年度は「初任者キャリアアップ研修」「中堅職員研修Ⅰ・Ⅱ」「チームリーダーキャリアアップ研修」「施設長・管理者研修」の5つの研修を既に実施しました。

今後の人材確保に向けて

今後の福祉・介護人材の確保の課題に対し、学齢期から就職期の若年層から魅力ある仕事として評価・選択されるようにするとともに、従事者の定着の促進を図るための労働環境整備が必要です。

質の高いサービスを確保する観点からは、従事者の資質向上を図るためのキャリアアップの仕組みの構

築が求められています。

また、県民には、福祉・介護サービスの仕事の今後の少子高齢社会を支える働きがいのある仕事であることを今以上に理解していただき、福祉・介護サービス分野への積極的な参入・参画が促進されるための周知を積極的に啓発していくことが重要となります。

さらに、様々な理由により、離職した潜在的有資格者等の掘り起こしや福祉・介護サービス分野において、新たな人材として期待される他分野で活躍している方々、そして、高齢者や外国籍等の多様な人材の参入・参画の促進を今後も推進していきます。



中堅職員研修

※ 福祉・介護の仕事及び研修については群馬県福祉マンパワーセンターへお問い合わせください。

【問い合わせ先】

群馬県社会福祉協議会福祉人材課
(群馬県福祉マンパワーセンター)

☎ 027-255-6600

介護福祉士修学資金貸付事業の次の募集は、介護福祉士養成校在学中の者を対象に、令和2年度4月頃募集予定です。在学中の介護福祉士養成校にてお申し込みください。

【問い合わせ先】

群馬県社会福祉協議会福祉資金課
☎ 027-255-6031

「令和元年台風15号及び台風19号による災害」 県内外被災地支援活動

台風第15号及び台風19号により、東日本を中心に広い範囲で河川の氾濫による浸水や土砂災害などの災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。

そのため、県内外において、被災地の市町村社会福祉協議会が中心となって災害ボランティアセンターが設置・運営され、本会としても主に県内の市町村社協と連携しながら、県内外の災害ボランティアセンター（以下、災害V.C.）の運営等を支えるための支援を行いました。

1 台風15号による災害

① 災害時の相互支援に関する協定に基づく派遣

千葉県社協および関東Aブロック幹事県である東京都社協から応援要請があり、本会では「関東甲信越静岡県都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき下記被災地域へ応援職員を派遣しました。

(1) 災害ボランティアセンター運営支援業務

- ◆ 支援先：千葉県君津市
- ◆ 派遣人数：14名（県社協5名、市町村社協9名）
- ◆ 派遣期間：20日間（9月20日（金）～10月9日（水））
（第1、3、4、6クール ※第8クール以降は台風19号により中止）

② 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）派遣

災害ボランティアセンターの立ち上げ支援や関係機関とのネットワーク構築支援等、災害ボランティアセンターの運営支援を行っている支援Pからの要請により、過去の災害において多くの支援経験を有する運営支援者として本会職員を派遣しました。

- ◆ 支援先：千葉県鴨川市 ◆ 派遣人数：1名
- ◆ 派遣期間：5日間（10月2日（水）～6日（日））
- ◆ 業務内容：災害ボランティアセンターの運営支援業務等

2 台風19号による災害

① 災害時の相互支援に関する協定に基づく派遣（県内）

県内市町村社協における「災害時の相互支援に関する協定」に基づき、以下の被災地域へ応援職員を派遣しました。

(1) 県内市町村社協への支援

- 県市町村社協職員の派遣
- 資機材等の貸出し及び提供
- 県災害ボランティア活動助成金の支給等

① 富岡市災害ボランティアセンター

- ◆ 派遣期間：5日間（10月16日（水）～20日（日））
（第1クール）※派遣人数：5名
- ◆ 10月16日は6名（県社協2名、藤岡市社協2名、安中市社協2名（17日からは1名））
- ◆ 令和元年10月27日（日）
- ◆ ※派遣人数：5名（県社協1名、安中市社協2名、下仁田町社協1名、みなかみ町社協1名）

◆ ボランティア受入数：836名

② 高崎市災害ボランティアセンター

- ◆ 派遣期間：4日間（10月16日（水）～19日（土））
- ◆ 派遣人数：1名（県社協1名）
- ◆ ボランティア受入数：60名

③ 嬭恋村災害ボランティアセンター

- ◆ 派遣期間：令和元年10月18日（金）～20日（日）
（10月17日（木）～11月3日（日）まで開設）



佐野市災害VC運営支援の様子



佐野市内の二戸調査

栃木県社協および関東Aブロック幹事県である東京都社協から応援要請があり、本会では「関東甲信越静ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき以下の被災地域へ応援職員を派遣しました。

② 災害時の相互支援に関する協定に基づく派遣（関東ブロック）

- ◆ 派遣人数：1名（県社協1名）
- ◆ ボランティア受入数：421名
- ◆ ④ 太田市災害ボランティアセンター（10月17日（木）～10月22日（火）まで開設）ボランティア受入数：244名
- ◆ (2)生活福祉資金（福祉資金「緊急小口資金」特別貸付業務）
- ◆ 支援先：大泉町
- ◆ 派遣人数：1名（県社協1名）
- ◆ 派遣期間：1日間（11月17日（日））

③ 災害ボランティアバスの運行・資機材貸与等の支援

- ◆ (1)災害ボランティアセンター運営支援業務
- ◆ 支援先：栃木県佐野市
- ◆ 派遣人数：25名
- ◆ 派遣期間：40日間（県社協8名、市町村社協17名）（11月10日（日）～12月5日（木）（第7～14クール））
- ◆ (2)生活福祉資金（福祉資金「緊急小口資金」特別貸付業務）
- ◆ 支援先：茨城県常陸大宮市、大子町
- ◆ 派遣人数：4名（県社協1名、市町村社協3名）
- ◆ 派遣期間：4日間（11月5日（火）～8日（金））

④ 災害派遣福祉チーム（DWAAT）派遣

台風19号により長野県長野市が大きな被害を受けたことに伴い、周辺の避難所に避難している高齢者や障害者等の要配慮者からの相談業務等に対応可能な災害派遣福祉チーム（DWAAT）へ長野県より派遣要請があり、本県よりぐんまDWAATを派遣しました。

- ◆ 支援先：長野県長野市豊野町（長野市立豊野西小学校 西部児童センター）
- ◆ 派遣人数：46名（DWAAT登録者44名＋事務局2名）
- ◆ 派遣期間：48日間（10月24日（木）～12月10日（火）（第1クール～12クール））
- ◆ 業務内容：
 - 避難生活者の相談支援
 - 要配慮者へのアセスメント
 - 福祉避難所等への誘導連携
 - 避難所内の生活環境整備等

- 佐野市
- ◆ 活動日：令和元年11月26日（火）1日間
- ◆ 参加者数：21名



11.26 佐野市Vバス・V活動

群馬県健康福祉部 介護高齢課
介護人材確保対策室
室長 佐藤貴彦さん

高齢化と労働人口の減少が進む今、将来にわたり安定した介護サービスを誰もが受けられるよう、介護人材の確保と育成は喫緊の課題です。群馬県の介護人材確保対策室長を務める佐藤貴彦さんに、介護人材をとりまく状況などについてお話をうかがいました。

❖ 本県における介護人材の確保・育成に向けた取り組みを教えてください。

平成29年度のデータでは、県内で約3万5千人が介護人材として活躍しています。年5%程度の割合で増加していますが、それを上回るペースで介護需要が増えており、人材不足が生じています。そのため県では、「参入促進」「定着支援」「資質向上」の3つを柱として介護人材確保対策を進めています。

「参入促進」では、介護福祉士を確保するため、養成校が開催する進路相談会や、養成校に進学する学生に対し、就学資金を貸与するなどの支援を行っています。また、子供の頃から介護の仕事を身近に感じてもらえるよう、介護職員が小中学校に向いて出張教室を行う取組を支援しています。

「定着支援」では、各事業所の管理者と現場職員とのコミュニケーション



佐藤 貴彦さん

ンを通じて、働きやすい職場づくりを進める「ぐんま人材育成宣言 言葉事業者・認証事業者」制度を普及するとともに、介護助手や介護ロボットを導入する事業所を支援しています。また、介護職員の処遇改善について、国に対する要望を継続して実施して参ります。

最後に「資質向上」では、介護現場のリーダーとして必要な知識・技能を有する「ぐんま認定介護福祉士」の養成や介護職員向けの研修を継続して実施します。

❖ 定年後の再就職等、中高年の方の介護職への関心は高まっていますか。

多くの産業分野においても、人手不足などの理由から、定年退職後の再雇用や定年の延長が検討されており、再就職先として介護職を選んでいたことは難しくなっていくと考えています。

本年度から介護に関心を持ち、ボランティアや介護助手などとして活躍いただくための入門的研修を、市町村と協働してスタートしています。多くの方に参加いただ

けるよう実施方法の見直し等を検討して参ります。

❖ 介護現場での外国人材の状況について教えてください。

県内の介護現場で活躍する外国人技能実習生が70人を超えるなど、本県は外国人材の受け入れが比較的進んでいるといえます。

技能実習生向け日本語研修を実施するほか、外国人材の受入を検討する事業所向けのセミナーを開催し、最新情報を提供するなどの取組を継続して実施して参ります。

❖ 今後の課題は

一つ一つの事業の効果には限りがあるので、新しくできることをどんどんやっていくつもりです。現場はとも厳しい状況で、今後さらに生産年齢人口が減少する中、介護職員をどのように確保していくかということは非常に大きな課題です。国内人材の確保対策をしっかりと進めるとともに、生産性の向上や外国人材の確保に関しても、これまで以上に取り組んでいきたいと考えています。

県社協会員紹介

助け合い、支え合う、県社協の仲間を紹介します

公益財団法人 群馬県長寿社会づくり財団

公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団は、「高齢者が活躍できる社会づくり」の拠点として、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することを目的に、高齢者の社会活動についての啓発、自主的な社会参加、生きがい及び健康づくり、雇用・就業及び能力活用を促進するための事業を、群馬県と県内市町村及び関係機関が一体となって推進していくための中核的組織として設置された団体です。



健康ダンス(伊勢崎)



全国健康福祉祭



健康ダンス(桐生)

まちの 社協 レポート



各市町村社協の
取り組み、活動を
レポートします

社協と地域が協働で取り組む

「地域支え合い車両貸出事業」が
始まりました！

「や」と贈り物が買えたの。ヘルパーさんには頼めなかったから：どうもありがとう」94歳のMさんから感謝の言葉を頂きました。

今日は「地域支え合い車両貸出事業」の初日です。最初の利用者はボランティア協会三郷支部です。地域の高齢者の方2人の買い物支援をする、これもまた初めての試みです。

「社協の車」と「地域の人の思い」がつながりたくさんの笑顔を見ることができました。

平成30年度から生活支援体制整備事業の委託を受け、地域の課題に目を向け取り組んできました。そこから見えてきた高齢者の「移動」の問題は、地域だけでは解決することが難しいことに気づき、社協が車両の提供をすることで少しでも解決につながる事ができたら…との思いからこの事業が始まりました。

地域も社協もできることから始めていく。そうする事で、気づきやつながりが生まれ、地域での助け合いが広がり、安心したより豊かな暮らしへと変えていく力になってほしいと思います。



社協と地域の思いを乗せて…さあ出発です！

社会福祉法人 伊勢崎市社会福祉協議会

伊勢崎市上泉町151
(伊勢崎市社会福祉会館)
TEL 0270-25-4546



伊勢崎市社会
福祉協議会
ホームページ



高齢者の方が乗降しやすいように踏み台を用意しました



贈り物のパジャマ、どれがいいかね？ボランティアさんとあれこれ相談できます



普段買えない物をたくさんカゴに詰めます



全国大会群馬大会に向けて

令和2年10月22日(木)・23日(金)Gメッセぐんま(高崎市)等で、「令和2年度全国民生委員児童委員大会群馬大会」が開催されます。全国から3,500名が参加する見込みで、表彰やシンポジウム、活動交流集会等を実施する予定です。現在、開催に向けて実行委員会と2つの専門部会で準備を進めております。



第1回実行委員会 総務・式典部会、活動交流集会部会の様子

令和2年度
全国民生委員児童委員大会群馬大会
実行委員会 (15名)

県民児協・県社協・群馬県
前橋市民児協・前橋市社協・前橋市
高崎市民児協・高崎市社協・高崎市

総務・式典部会
(16名)

活動交流集会部会
(26名)



社会福祉法人
群馬県社会福祉協議会
会長 川原 武男

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、令和になって初めての新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は、高齢者人口がピークを迎え、現役世代の減少が進む2040年を見据え、人生100年時代に対応した全世代型社会保障の構築に向けた改革が本格化して参ります。

私たちは、こうした社会情勢の変化にもしっかりと対応しながら、子どもや高齢者、障害者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現に向けて、皆様とともにオールぐんまで取り組んで参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

INFORMATION



お知らせ

人権相談

前橋地方法務局では、子ども、高齢者、障害のある人も含めて、全ての人の人権が守られるよう活動しています。その一環として、「みんなの人権110番」を設置し、人権擁護委員又は法務局職員が、暴行・虐待、差別・偏見、セクハラ・パワハラなど、種々な困りごとについて電話相談に応じています。秘密は厳守されます。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

相談時間：平日 8:30～17:15
みんなの人権110番：☎ 0570-003-110

「見守り支援セミナー」を開催します。

地域の見守り活動から支え合いの地域づくりへ求められることや、実際に取り組まれている多様な見守り活動について理解を深めます。

日時 令和2年2月27日(木) 13:00～16:00予定
会場 群馬県社会福祉総合センター ホール
対象 地域住民、民生委員・児童委員、市町村社
役職員、地区社協関係者、市町村行政職員等
定員 300名
内容 講演：「地域の見守り活動から支え合いを育む」
講師：ご近所福祉クリエーター 酒井 保氏
パネルディスカッション：「地域における多様な見守り活動」
登壇者：前橋市社会福祉協議会 / 榛東村社会福祉協議会 / ビーイング



昨年度のセミナーの様子

申込み・問い合わせ先：群馬県社会福祉協議会 地域福祉課
☎ 027-255-6226

福祉ぐんま

編集／発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

*福祉ぐんまは、群馬県協ホームページでもご覧になれます。

〒371-8525 (専用郵便番号)
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター内
TEL 027-255-6033 (代表)
FAX 027-255-6173
URL <http://www.g-shakyo.or.jp/>
発行日 令和2年1月1日

あしがき



令和で迎える初めての正月。いつにもまして、気持ちを新たにした人は多いだろう。今年は東京五輪・パラリンピックが開かれる、世界が注目する1年でもある。

人種、文化、食、政治体制、障害など全てが違うアスリートたちが集い、世界中の観光客もやって来る。県内でも各国選手が事前キャンプで滞在予定だ。

多様性とは、異文化とは何か。頭でっかちの理解やネット検索を超えて、世界の人々と実際にふれあい、肌で感じる年にしたい。

編集委員 上毛新聞社前橋支局長 石垣 光広